

長万部町 共立 2 遺跡・豊野 4 遺跡(第 41 回南北海道考古学情報交換会)

(公財)北海道埋蔵文化財センター 末光正卓

長万部町 共立 2 遺跡 (B-17-52)

事業名：北海道新幹線建設事業に伴う埋蔵文化財調査

委託者：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

所在地：山越郡長万部町共立 471

調査面積：4,200 m²

調査期間：令和 2 年 5 月 7 日～8 月 28 日

調査員：皆川洋一、新家水奈、末光正卓、広田良成、山中文雄、菊池慈人

調査の概要

遺跡は J R 函館本線長万部駅から北北東へ直線距離で約 6.5 km、オタモイ川とナイベコシナイ川にはさまれた場所、南東方向に静狩低地と内浦湾(噴火湾)を見下ろす標高約 38m の段丘に位置する。東側に町道をはさんで共立神社、北側は旧共立小学校(平成 21(2009)年閉校)に接し、さらに同方向の奥にみえる道央自動車道の静狩 P A は共立遺跡である。調査区西側の斜面下には無名の沢が南へ流れる。

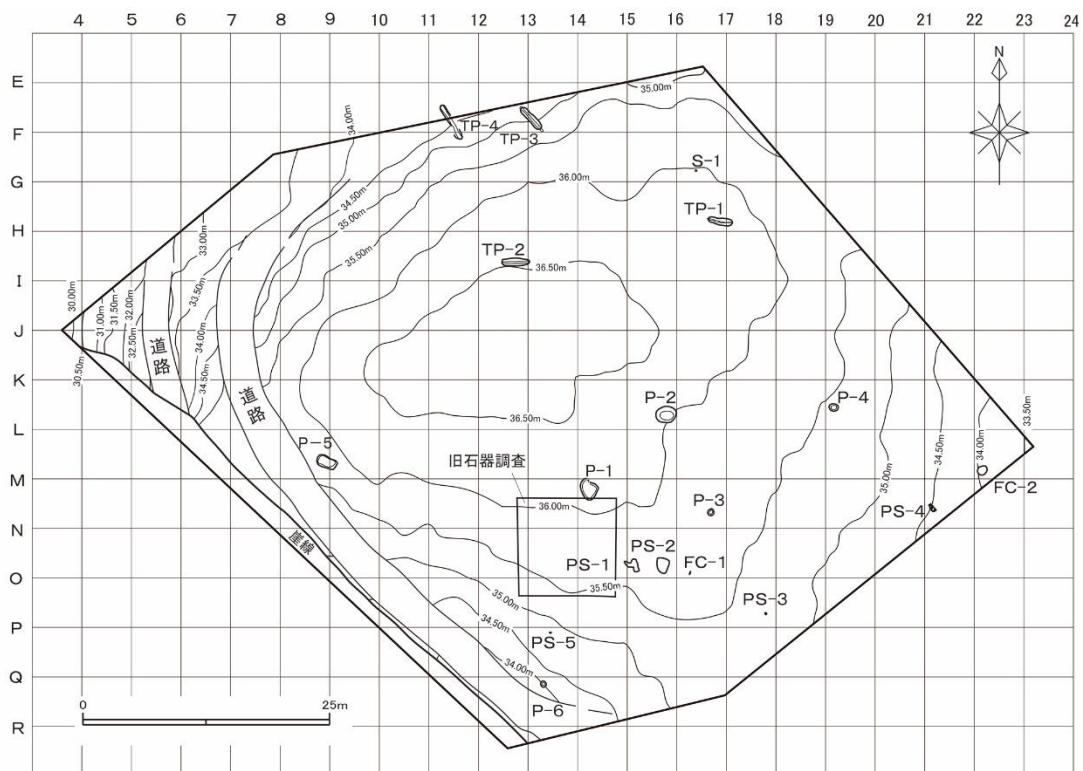
基本土層は、Ⅰ層：地表土、Ⅱ層：黒色土層、Ⅲ層：漸移層、Ⅳ層：褐～橙色の地山でⅠ～Ⅲ層から遺物が出土した。調査前はうっそうとした森林で、調査区の地形は中央が高く周囲四方へと傾斜し、概して遺物包含層の残存状態は不良であった。

遺構と遺物

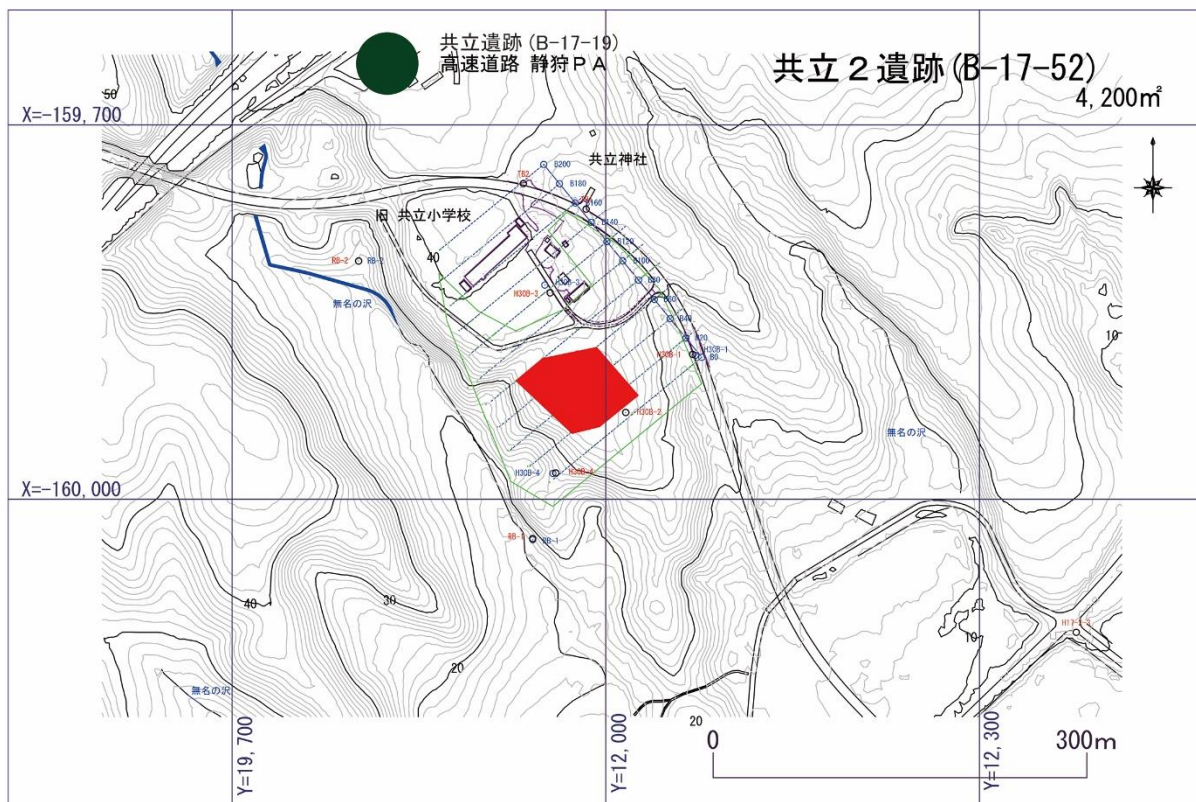
遺構は土坑 6 基(P-1～6)、Tピット 4 基(TP-1～4)、土器集中 5 か所(PS-1～5)、フレイク集中 2 か所(FC-1・2)、礫集中 1 か所(S-1)を調査した。土坑は P-5 のみ南西側に位置し、これ以外は南～南東側の斜面にみられる。P-1 は石核と台石が出土し、P-2 の覆土は黄色土主体である。P-3 と P-6 は円形、P-4 は楕円形でいずれも浅い。P-5 は長方形で坑底が平坦である。TP-1～4 はすべて細長い溝状で、北側の斜面にみられる。土器集中とフレイク集中は南～南東側に位置する。PS-1～4 は縄文時代前・中期、PS-5 は縄文時代早期である。PS-4・5 は復原個体が得られた。FC-1・2 は頁岩製のフレイクが出土し、S-1 の遺物は被熱する。また、N-13 区では旧石器時代のナイフ形石器が出土し周囲のⅣ層を掘り下げたところ、フレイク 11 点がみつかった。遺物は土器 1,518 点、石器 1,520 点が出土した。土器は一次整理で縄文時代中期に分類したが、二次整理で多くが前期前半と判明した。剥片石器は石鏃、石錐、つまみ付きナイフ、スクレイパーで、石鏃のみ黒曜石製が多く、これ以外では頁岩製が多い。礫石器は磨製石斧、たたき石、すり石、石錘、砥石、台石で、磨製石斧は緑色泥岩、これ以外の多くは安山岩製である。石製品は凝灰岩製のものが多い。レキ(自然礫)は安山岩ついで凝灰岩が多い。本遺跡の主体的な時期は縄文時代前期前半と考えられる。



遺跡の位置(国土地理院数値地図 50000「長万部」・「国縫」を編集・加筆)



共立 2 遺跡 最終面地形測量図・遺構位置図



共立 2 遺跡 現況図(工事図面)

長万部町 豊野4遺跡（B-17-33）

事業名：北海道新幹線建設事業に伴う埋蔵文化財調査

委託者：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

所在地：山越郡長万部町豊野 130-1

調査面積：320 m²

調査期間：令和2年5月7日～8月28日

調査員：皆川洋一、新家水奈、末光正卓、広田良成、山中文雄、菊池慈人

調査の概要

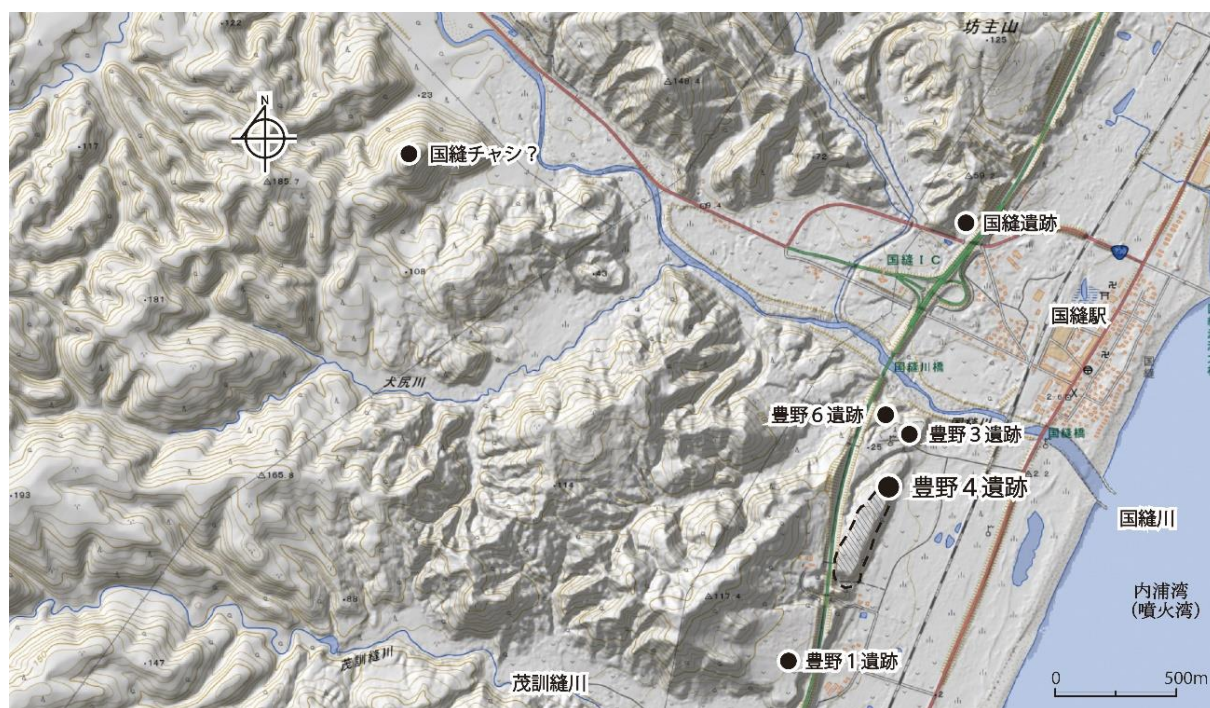
遺跡はJR函館本線国縫駅から南西方向へ約1km、内浦湾（噴火湾）の海岸線と平行する段丘上に立地する。北側の国縫市街地との間には二級河川国縫川が流れる。標高20～30mの細長い段丘全体が豊野4遺跡で、今回の調査区は段丘の北縁にあたる。町道国縫川向線の無名の沢を挟んだ北側の国縫墓地は豊野3遺跡で、付近を走る道央自動車道上には豊野6遺跡があり、平成11(1999)年の発掘調査では縄文時代各期の遺物が出土した。

遺物と遺構

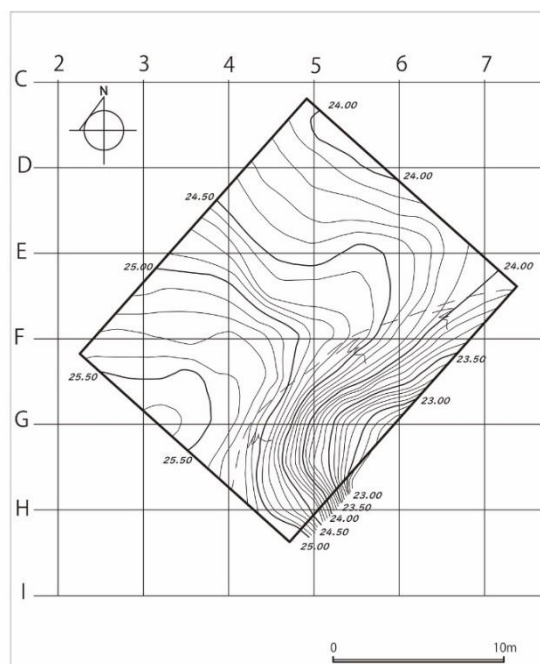
今回の調査では遺構はみつからなかった。基本土層は共立2遺跡と概ね同じであるが、調査区内のくぼんだ地形には、I層とII層の間に1640年降下の駒ヶ岳d火山灰（Ko-d）の堆積が散見された。また、IV層の地山は、硬質凝灰岩と硬質頁岩の礫を多く含む。

出土遺物は、スクレイパー、U・Rフレイク、フレイク等の剥片石器や、すり石、たたき石の礫石器、加工・使用痕のあるレキ、自然レキなど合計430点である。土器は出土しなかった。剥片石器はすべて頁岩製で、黒曜石のものはない。

本遺跡は、縄文時代の石器の材料である頁岩の獲得地であった可能性を考えている。



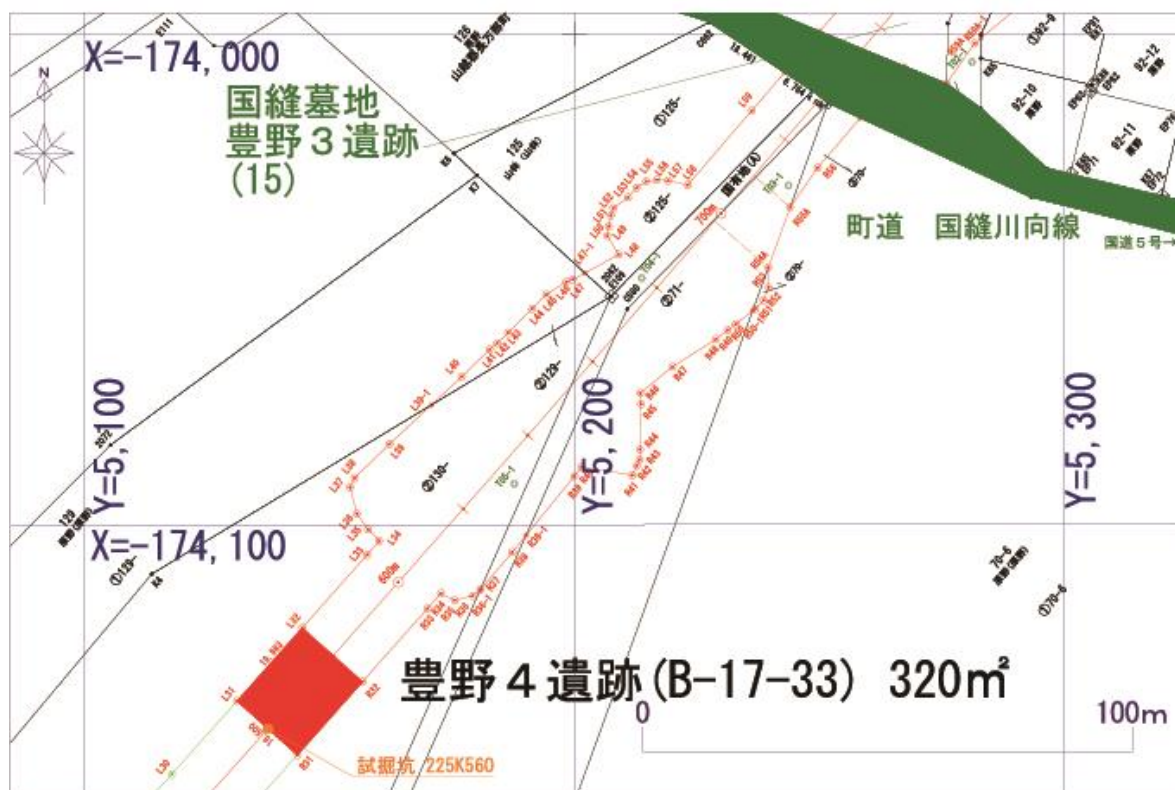
遺跡周辺の地形（国土地理院 標準地図+陰影起伏図を使用）



豊野4遺跡 最終面地形測量図

I 層		: 現地表にある層
I・Br層		: 茶褐色の地表土 共立2遺跡
Ko-d?		: 駒ヶ岳d火山灰 (1640年) 豊野4遺跡
II層		: 黒色土層
III層	III b層	: 漸移層上位
	III y層	: 漸移層下位
IV層		: 地山 凝灰岩 (瀬棚層の上部?)

長万部町 基本土層柱状図



豊野4遺跡 現況図(工事図面)